

# 神奈川 小田原 英語 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

問 1 はリスニング。昨年同様独自校共通問題で、従来の会話の応答を選ぶ問題・内容理解の問題以外に、地図を見て答える問題が加わりました。リスニング以外では問 3・問 6 が独自校共通の問題です。問 2 は発音問題、並べ替え、誤りを見つける問題で構成されています。発音問題は今まで出題がなかったため、大きな変更点です。問 3 は会話の流れに合うよう短文を書く条件作文。問われている文法事項は基本的なものなので点を落とせない問題です。問 4 は長文読解問題です。内容を問う問題がほとんどですが、文の内容が難しいため難易度は高いと言えます。問 5 は会話文の読解問題です。内容理解だけでなく、計算が必要な問題、やや難しいな並べ替え、地図を用いた道案内、誤りを見つける問題と、パターンが多様なのが特徴です。問 6 では本文と付随するグラフの両方をきちんと読み取ることが求められています。昨年は整理する情報が多く難易度の高い問題でしたが、今年は確認する情報はそれほど多くなく、小問も昨年の 4 題から 3 題に減っているため、解きやすくなったと言えます。

全体的には、文章の中の情報量が多く、そのため難易度は比較的高いといえます。

## 入試までに準備しておくこと

共通問題と比較して、発音問題があること、長文の分量が多いこと、文法的にやや難しい問題があることが全体の難易度を高めています。

アクセントと発音の問題は発音記号の学習と音読練習が効果的です。発音記号はまずはよく出題される母音の発音記号に慣れることが大切です。

会話文、長文問題は文が長いことと内容一致問題で内容の全体的な把握をしているかどうか問われることから、内容をしっかり理解しながら速く読むことが重要になります。英語の語順どおりに左から右へ文を読み進めること、時間を計って一度読んだ文を何度も読み、時間を縮めていくことなどが効果的です。

リスニング問題は、継続的に英語を聞き取る練習が必要です。過去の問題や英検 3 級程度の聞き取り問題で練習することが効果的です。

また、さまざまな問題形式に対応できるように独自問題を行っている県内他校の入試問題、他県の公立高校の入試問題などいろいろな種類の問題に触れることも大切です。

| 英語 分野別出題形式 |    | 22年度        | 21年度 | 20年度 |    |
|------------|----|-------------|------|------|----|
| リスニング      | 記号 | 内容理解(含英問英答) | 8    | 8    | 8  |
|            | 記述 | 英問英答        |      |      |    |
|            |    | 和問和答        |      |      |    |
| 小計         |    | 8           | 8    | 8    |    |
| 語彙         | 記号 | 綴り          |      |      |    |
|            |    | 語形変化        |      |      |    |
|            |    | 発音・アクセント    | 3    |      |    |
| 小計         |    | 3           | 0    | 0    |    |
| 文法         | 記述 | 適語(句)選択     |      |      |    |
|            |    | 適語(句)補充     |      |      |    |
|            |    | 語順整序        | 3    |      |    |
|            | 記号 | 部分英作        |      |      |    |
|            |    | 完全英作        |      |      |    |
| 小計         |    | 4           | 2    | 2    |    |
| 読解         | 記号 | 内容理解(含英問英答) | 4    | 9    | 9  |
|            |    | 内容一致        | 6    | 3    | 4  |
|            |    | 段落・文整序      |      |      |    |
|            |    | 段落・文・節挿入    |      |      | 7  |
|            |    | 適語(句)・文選択   | 14   | 25   | 17 |
|            | 記述 | 語順整序        | 4    | 3    | 3  |
|            |    | 内容理解(指示語など) |      |      |    |
|            |    | 語形変化        |      |      |    |
|            |    | 空所補充        |      |      |    |
|            |    | 和文英訳        |      |      |    |
| 小計         |    | 4           |      |      |    |
| 合計点        |    | 32          | 40   | 40   |    |
| 合計点        |    | 50          | 50   | 50   |    |

# 神奈川 小田原 国語 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

例年どおりの大問 4 題の構成で、総小問数は 31 題でした。

問一は、漢字の読み書き、短歌の評論、資料を含む問題です。「真(おそれ)」は非常に難度が高い読みみです。資料を含む問題は共通問題にも見られる形式ですので、十分な対策が可能だったと思います。

問二は、小説文からの出題でした。分量は例年と変わらず、設問も大部分が心情理解です。根拠となる箇所を丁寧に拾っていけば十分に正答できます。

問三は、動物園を例にした自然環境保護がテーマの論説文。小問の多くは標準的な難度でしたが、50 字以上 60 字以内の記述問題は、具体例を排して本文全体をとらえていく必要があるため、やや戸惑った受験生も多かったかもしれません。

問四は H22 年度に初めて導入された「独自間共通問題」の古文です。小田原高校の過去の出題と比較すると、難易度はほとんど変わっていません。時間配分に気をつけて、最後まで解答できるようにしましょう。

| ■出題分野一覧表 |             | 22年度 |    | 21年度 |    | 20年度 |    |
|----------|-------------|------|----|------|----|------|----|
|          |             | 記号   | 記述 | 記号   | 記述 | 記号   | 記述 |
| 漢字<br>語彙 | 漢字の読み取り     |      | 4  |      | 4  |      | 4  |
|          | 漢字の書き取り     |      | 4  |      | 4  |      | 4  |
|          | 四字熟語・語彙     |      |    |      |    |      |    |
| 文法・表現    |             |      |    |      |    |      |    |
| 敬語       |             |      |    |      |    |      |    |
| 韻文       | 俳句(鑑賞文含む)   |      |    | 1    |    | 1    |    |
|          | 短歌(鑑賞文含む)   | 1    |    |      |    |      |    |
|          | 詩(鑑賞文含む)    |      |    |      |    |      |    |
| 資料を含む文章  |             | 2    |    | 2    |    | 2    |    |
| 小説       | 心情を問う設問     | 6    | 4  | 6    | 2  | 4    | 2  |
|          | 場面を問う設問     |      |    | 2    |    | 4    |    |
|          | 語句          | 1    |    | 1    |    | 1    |    |
|          | 本文との正誤問題    | 2    |    | 2    |    | 2    |    |
| 論説       | 接続語の補充      |      |    |      |    | 2    |    |
|          | 傍線部の理由を問う設問 | 2    |    | 2    | 2  |      | 2  |
|          | 傍線部の説明を問う設問 | 6    | 2  | 8    |    | 6    | 2  |
|          | 語句          | 2    |    | 2    |    | 2    |    |
| 古文       | 本文の内容を問う設問  | 4    |    | 2    |    | 2    |    |
|          | 主語を問う設問     | 2    |    | 2    |    | 2    |    |
|          | 仮名づかい・語彙    |      |    |      |    |      |    |
|          | 傍線部の理由を問う設問 |      |    |      |    | 2    | 2  |
|          | 傍線部の説明を問う設問 | 2    | 2  | 4    |    | 2    |    |
|          | 本文の内容を問う設問  | 2    |    |      | 2  |      |    |
| 本文との正誤問題 |             | 2    |    | 2    |    | 2    |    |
| 作文       |             |      |    |      |    |      |    |
| 合計       |             |      | 50 |      | 50 |      | 50 |

## 入試までに準備しておくこと

漢字の読み書きは、これまで学校で学んだ範囲のものを全て書けるようにしましょう。小説は、傍線部が含まれる箇所の場面をとらえて、その範囲での状況・立場や出来事、それによる心情変化を説明できるように心がけてください。

論説文では、早く正確に読みとるために、線を引きながら要旨をつかむ練習が必要です。苦手な人は、段落ごとに大まかな意味をつかむ練習をしましょう。記述問題は、設問から答えの形を決定してから、設問の答えとなる情報を本文から抽出します。記述問題を見るとどうしても後回しにしてしまいがちですが、数多く練習しないと書けるようにはなりません。

古文については、動作主の確認を習慣としてください。「誰が何をしたのか」を把握しながら読む練習を数多くの問題で積みましょう。また、打消しや反語など問われやすい語は、知識として覚えておきましょう。現代語訳の際に必要なとなります。

# 神奈川 小田原 数学 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

出題構成は大問6題、小問17題でした。問1は小問集合で、計算問題、根号を含む式の計算、因数分解、式の値、関数の変域、倍数、相似な図形、立体の体積の8題でした。問2は他の独自問題実施校と共通で、関数と図形に関する問題。放物線の式を求める標準問題と、座標を文字で表し、長さについての方程式を立てる問題でした。問3は確率分野。サイコロの目によって正方形の位置や大きさが決まり、2つの正方形の重なりの面積に注目する問題でした。問題文のルール説明部分が非常に長く、把握が難しい問題でした。問4は空間図形。台形を底面とする角柱の形をした容器に水を入れ、置き方を変えることで底から水面までの高さを考える問題でした。(イ)で容器内の水の形が一見して角柱でなくなるが、横になった角柱であり、底面となる台形の高さが水面までの高さであることに気がつくと解法が見える良問です。問5は他の独自問題実施校と共通で、空間図形の問題。(ア)は最短経路の基本的問題。展開図上で線分として結び三平方の定理を用いて求めます。(イ)は求める三角形が二等辺三角形であることに気がつくと思えます。点Kの位置の把握のためにまず面P上で考え、そのあといずれかの直角三角形上で三平方の定理を使って必要な長さを求めます。が、Kの位置の把握が困難であった受験生も多かったと思えます。問6も他の独自問題実施校と共通で、非常に易しい証明問題。一方の角は同じ弧に対する円周角が等しいことと半径がつくる二等辺三角形の底角として示し、もう一方は円周角が中心角の2分の1であることと三角形の外角の性質を用いて示します。後半は「=」を使い続けることで示すわけではないので様々な内容を記述することに慣れておきたいものです。

## 入試までに準備しておくこと

関数、図形ともに方程式を利用する出題がありました。特に関数で、座標を文字にして表す問題には慣れが必要です。また、問題文が非常に長く問題の条件の理解に時間をかけてしまうことが考えられます。問題を解くための手段や処理の方法を的確に、早く組み立てる訓練をしておくことも大切です。他の独自問題入試実施校の過去問や他県公立高校の過去問を使って練習を積んでおきましょう。

| 領域      | 内容         | 配点   |      |      |
|---------|------------|------|------|------|
|         |            | 22年度 | 21年度 | 20年度 |
| 数と式     | 数の性質・表現    |      | 2    |      |
|         | 数の計算       |      |      |      |
|         | 式の計算       | 2    | 2    | 2    |
|         | 平方根        | 2    | 5    | 5    |
|         | 多項式の乗法     |      |      |      |
|         | 因数分解       | 2    | 2    | 3    |
|         | 小計         | 6    | 11   | 10   |
| 方程式     | 1次方程式      |      |      |      |
|         | 連立方程式      | 2    |      |      |
|         | 2次方程式      |      |      | 3    |
|         | 方程式の応用     | 6    | 6    | 3    |
|         | 不等式・不等式の応用 |      |      |      |
|         | 小計         | 8    | 6    | 6    |
| 関数      | 比例と反比例     |      |      |      |
|         | 1次関数       |      |      |      |
|         | 2次関数       |      |      | 3    |
|         | 変化の割合・変域   | 3    | 3    | 3    |
| 関数と図形   | 直線と曲線      | 3    | 3    |      |
|         | 関数と図形      | 3    | 3    | 3    |
|         | 小計         | 9    | 9    | 9    |
| 三角形・四角形 | 角度         |      |      |      |
|         | 作図         |      |      |      |
|         | 合同         |      |      | 4    |
|         | 相似         | 5    | 3    |      |
|         | 三角形        |      |      | 3    |
| 円と平面図形  | 平行四辺形      |      |      |      |
|         | 円周角の定理     | 2    | 3    |      |
|         | 円と弧・弦・接線   |      |      |      |
|         | 線分、線分比     |      | 3    | 3    |
|         | 面積、面積比     | 3    | 3    | 3    |
| 空間図形    | 点の移動と図形    | 4    |      |      |
|         | 線分、線分比     |      |      | 3    |
|         | 面積、面積比     | 2    |      |      |
|         | 体積、体積比     | 2    | 3    | 3    |
|         | 点の移動と図形    | 6    | 3    |      |
|         | 回転体、球      |      |      |      |
|         | 小計         | 24   | 18   | 19   |
| 確率      | 場合の数       |      |      |      |
|         | 確率         | 3    | 6    | 6    |
| 総合問題    | 数と式        |      |      |      |
|         | 図形         |      |      |      |
|         | その他        |      |      |      |
|         | 小計         | 3    | 6    | 6    |
|         | 合計         | 50   | 50   | 50   |